

コミュニティ・防災減災部門

～みんなでオモロイことで繋がる～コミュニケーションアートで繋がるまちづくり

A-yan!! 代表 ○田中 やんぶ
事務局長 泉田 ゆうこ

1. 活動方針・目的

A-yan!!の合言葉は『みんなでオモロイことで楽しもう』

自分たちの持っているアートのチカラで、老若男女障がい者健常者全ての人言葉でなくオモロイと感じられる『何か』で一緒の時間と『楽しい』を共有して繋がりたい。

家庭で職場で学校で家事で育児で仕事で勉強でしんどい・・・そんな人たちが楽しく繋がることで、笑顔になり喜んでもらいたいと考えています。

芸術を志す者は時に不器用で、『普通』に言葉でコミュニケーションすることができない。だからパフォーマンスやモノづくりで伝えよう、繋がろうとするのです。

でも自分達がやりたいことを押し付けるような表現では、うまく繋がることはできません。

地域に出て地域の人と活動を共にする中でA-yan!!は変わっていきました。

喜んでもらえる人のために自分達の表現・アートが活用することができれば、その場・地域が盛り上がる一助となり、またが居場所と成り得ることを知りました。

居場所をより良くするために地域のチカラになれるようなアート表現活動をしていきます。

2. 活動内容

地域イベントなどでの開催を目標に数回のワークショップを行い、「ご当地ヒーローショー」や「おぼけ屋敷」「作って遊ぼう道場」他の催し物を考える。参加者は主に開催地周辺で募集。

地域の特徴や問題、郷土史や民話などをベースに、地域独自のコンセプトを参加者と共に考え、より共感を得やすい内容にすることを旨とする。

3. 他の活動団体の参考となる事例

地域と子どもが食いつくネタを考える。子どもが参加すればその親やおじいちゃんおばあちゃん世代も巻き込める。

また子どもには彼らを子ども扱いせずきちんとルール説明をして、彼らに考え作らせ宣伝してもらうことで、共にイベントを作っているという意識作りをする。

4. 今後の課題等

- ・参加してくれるメンバーや協力者の拡大

地元企業・個人にこちらから協賛を求めるのではなく「ぜひA-yan!!にやってもらいたい」と言われる存在になり、口コミで会員を募る。

ヒーローショーの悪役での参加などで間口を広げ、社会貢献活動につながる事をアピール。

- ・活動資金の集め方

高額でなく小額で多くの人に賛同してもらう仕組み作り。ご当地ヒーローの背中に広告をのせるなど検討している。

～みんなでオモロイコトで楽しもう～ コミュニケーションアートで繋がる まちづくり

A - yan!! 関西をアートで盛り上げるNPO
田中やんぶ

はじめに

- A - yan!!とは??
- 2005年にできました！芸術家の集団です。
- まずは知ってもらうために
御堂筋パレード300人の仲間と出る。毎日放送の特集にも出る。
- あれ？アートって？必要か？

必要とされるためには

- ・ オナニーなモノはやめよう。
- ・ 町に出よう！
- ・ 顔出しかんばんアートプロジェクト。
- ・ ご当地ヒーロー
- ・ ヒミツキチプロジェクト
- ・ 57メートルの日本一長い壁絵を描く
- ・ 積極的にメディアに出て行こう！！
- ・ SNSでつながる……！！

こんなんあるねん？ やってくれへん??

商店街おこし町おこし→まちおこしという言葉を知り初めて知る。

会って知ってもらおう。顔と顔で繋がる。

必要とされてきた。だが…。

→年50回

→しんどくなるメンバー

多くの人に本当に 必要とされる存在へ

- 最恐おばけ屋敷
 - →子どもの居場所作り
 - 多くの人と知り合う・・・だけ??
 - 同じことをいやそれ以上のことをやってるのに評価が高いが。
-
-

自分たちのやってることに 誇りを持つ。

- 若者がいない
 - 新しい町会活動とは??
 - 新しい表現の形へ。
-
-